

# 下水道使用料金、値上げやめて



発行：日本共産党  
伊那市委員会  
伊那市狐島3879  
TEL：72-2465  
ホームページ  
「J C P 上伊那」



「下水道料金値上げストップの会」は、伊那市が12月議会に「来年4月から下水道使用料金6%値上げ」を提案するのを受け、「値上げストップを求める署名」を12月10日までに2000人を目標に取り組むとしています。

## 住民負担でなく 積み立て基金からの 繰り入れを

下水道事業の赤字は、以前から人口増を見込み、住民の少ない地域などに工事を広げていたことや水洗便器が節水型に替わったことなどが要因です。これを市民に負担させるのはあまりにも勝手すぎるとの声が寄せられています。

「会」では、155億円の市の基金の一部、年6500万円を充てれば市民への負担は避



署名に応じる人々

けられるとして、一人でも多くの署名を集めて値上げを阻止したいとしています。  
28日、第一次分として544人分を議長に提出しました。

## 「やりくりが大変に」

美原区のOさんは、「水は私達にとって必要不可欠なものです。下水道使用料6%値上げは家計を圧迫します。お風呂、洗濯、料理等をきりつめてやりくりしていくのは大変なことです。」と訴えています。

## 衆院選長野5区で議席を 野党共闘議員連盟が発定

「上伊那地域で野党共闘の推進を」と「オール上伊那議員連盟(仮称)」を結成。「衆院選

挙でも野党共闘でたたかおう」との新たな動きがはじまっています。

11月11日夜、

党派を超えた7人の議員が伊那市内で記者会見し、伊那市議で事務局の若林敏明氏が、10月21日に上伊那の議員19人が集まり発足したことを紹介しました。



11/11 野党共闘議員連盟の共同記者会見

現在、8市町村で共産、社民、無所属の議員30人ほどが賛同。参院選で掲げ確認した4項目(①安保法制(戦争法)を廃止②安倍政権の打倒③憲法改悪を阻止④格差社会の是正をめざす)を承認したこと。同時に、地方自治や沖縄、原発問題などの課題について学習し、衆院選で野党統一候補の実現と選挙を推進し、下伊那地方の議員にも賛同者を募ることを発表しました。

また、12月8日の平和集会(4面「催し案内」参照)への参加を、広く市民のみなさんに呼びかけています。

## 地 蜂

天皇 皇后両陛下は阿智村の「満蒙開拓平和記念館」を訪れ、体験を語る高齢者に「こういう歴史があったことを、経験がない人たちに伝えることが大切だと思います。そういうことを経て今の日本が作られたわけですから」と語りかけました▼満蒙開拓で国内最大の犠牲者を出した下伊那。「分村移民」を遂行し、集団自決で73名死亡、未遂での1名しか帰国できなかった旧河野村。

移民を推進した村長は苦悩の末、終戦の翌年7月に自殺しています。一方、村民から犠牲者を出さなかった旧大下條村(現阿南町)佐々木忠綱村長は、危険なところに村民を行かせることはできないと流れに逆らいました。あの時代にあつて彼が歴史や社会をリアルに学んでいたことが注目されています▼「総理、菅部信喜さんという憲法学者、存じですか?」国会での野党議員の質問に「…クイズのような質問をされても生産性はない」と不快感をあらわにした安倍首相。駒ヶ根市出身の戦後を代表する憲法学者、故菅部信喜東大名教授の憲法観のベースには学徒出陣で死を覚悟した戦争体験があります▼「安倍政権との対決の最も熱い本格的対案」 「現行日本国憲法こそ対案」 共産党27回大会決議案の特徴として志位委員長が報告しています。共闘をどう発展させるかー私たちの認識を深化させ、まわりに大きく広げることが大切です。(Y・K)

# 政治は数 野党共闘で政権の展望を！

## 杉尾ひでや参院議員、国政を語る

11月27日県伊那文化会館で、7月の選挙で野党と市民が共闘してたたかい、勝利した杉尾秀哉参院議員の「国政を語るつどい」が開かれ、160人余が参加しました。

つどいは、上伊那の市民団体や民進党、共産党、社会民主党で構成する「オール上伊那・杉尾ひでや応援団」が主催しました。

杉尾氏は、国会では、TPP参加と年金の引き下げを強行したが、TPPは米議会で承認しないかぎり発効しないこと。改憲問題についても、安倍政権は数が多いが、公明や維新は見解が違い、安倍改憲の熱狂的支持者ではないと指摘。衆院選では、共闘を発展・強化させ議席増を勝ち取り、次の次の選挙位には、政権を取りましようと呼びかけました。参加者は、これに大きな拍手で応えていました。

また、参加者からの意見や質問には、メモも取りながら丁寧



会場からの質問にも丁寧に答える杉尾参院議員

参加者からは、「衆院選も野党共闘でたたかってほしい」などの感想が寄せられました。

## 「自衛隊を戦地に送るな」各地で行動

憲法が公布されてから70年。安倍政権は戦争法の一環で改定したPKO（国連平和維持活動）法にもとづき、「駆け付け警護」などの任務を負わせ、南スーダンへ自衛隊を増強派兵しました。各地で「自衛隊を戦地に送るな」「平和憲法を守れ」「憲法を変えさせない」などの声が相次ぎました。

伊那の憲法九条を守る会連絡会は、11月3日午後1時から、

## 学習会 「リニアを知ろうっ考えようっ」

11月11日、新日本婦人の会伊那支部主催のリニア問題学習会が、いなっせで開かれ、男性も含め33人が参加しました。

講師は、「飯田リニアを考える会」事務局の春日昌夫さん。建設反対の闘いの様子をスライドで報告しました。

赤石山脈は若い山脈で今も隆起が続いており、清内路トンネルの中は凸凹であること、道路は道幅が狭くカーブも多いので改修が必要であること、残土の置き場がないこと等々問題が多く、政府が考えている2027

ベルシャイン前と手良で「戦争法廃止」を求めてスタンディング。これに、竜東、東春近、手良の会員らが参加しました。

また、安保法制（戦争法）を強行したことに抗議するスタンディングを、19日午後1時から、



11/19 雨にも負けずに抗議行動

年までの完成は無理だろうということ、地域の人には「お上がやること」に文句は言えない。的な雰囲気があること、また、世界市場は、設備が高額な上に不便なリニアを求めておらず、新幹線で十分だと考えていることなど、様々な問題を抱える現状が明らかになりました。

降りしきる雨の中、グリーンファーム前で行いました。荒井から来た50代の男性は、「雨の中ご苦労さま。よく続けてますね」。60年代女性は「世田谷でもやってます。頑張りましょう」。また、車中からは手ふりなどの激励が寄せられました。

この日は、手良や西箕輪、東春近の九条の会と新婦人の会、共産党の代表者が参加しました。前沢市議らがマイクを握り「戦争法」の廃止や自衛隊の南スーダン派遣の中止などを呼びかけました。



スライドに見入る参加者

# 日本共産党を大きくするために 力をお貸しくください

日本共産党は、来年1月15日から27回大会を開催します。11月15日に、党大会の決議案を発表しました。

ここでは「野党と市民の共闘をさらに大きく発展させ、安倍政権を倒して自民党政権を終わらせ、野党連合政権をつくろう」と呼びかけています。

その実現には、日本共産党を大きくすることが、どうしても必要です。平和と暮らしを守るために、しんぶん赤旗購読者を増やしてください。また、日本共産党に入ってください、よい政治を共に進めましょう。

ぜひ、お力をお貸しくください。

2016年12月2日

日本共産党伊那市委員会

## 東日本被災地支援へ

共産党上伊那地区委員会は11月19日、東日本大震災被災地の岩手県大槌町に、読者・支持者のみなさんから寄せられた米、お茶、大根、ネギ、南瓜、じゃがいも等の野菜をワゴン車一杯と募金を持って25回目の支援を4名で行いました。

物資は、3日間の滞在中に和野仮設集会所での手渡しと2ヶ所の

仮設団地135世帯に届けられました。20日夜は被災地復興の現状や計画なども語り合い交流しました。党事務所から、募金や支援物資を提供された皆様にお礼と、現地支援に参加した4名からは「皆さんに喜ばれており、継続した支援が力になっている」との報告が寄せられました。



「きずな市」には若い人たちも含めて70余名が来てくれました



## 内部被曝の脅威

柳川ひろみ

5年ぶりに読み返した『内部被曝の脅威——原爆から劣化ウラン弾ま

963年までアメリカで行われていた核実験に動員されて被曝したアメリカ兵にも出ているとあります。原爆から劣化ウラン弾は15年後に発症する人もいたとあります。

『肥田舜太郎・鎌仲ひとみ著(ちくま書房)は、今は更に怖いと感じる中身です。初版2005年で、被爆者の「原爆から劣化病」という後遺症についても書かれています。これが同じ症状が、1

劣化ウラン弾も元は原発の不用になったウランから製造されており、イラク戦争の帰還兵やイラク・クウェートの子どもたちに白血病

や他の癌の増加をもたらしています。そして使用後の劣化ウラン弾からはプルトニウムが検出されており、高温での爆発によって原子炉と同じ現象が起きているとあります。

原爆と原発の恐ろしい関係が分かり、人類にとつてどれだけ危険かが解る本です。原爆も原発も無くすために、日本政府を変えましょう。総選挙で。



上の原々音

11

食生活 上原 中村 光利

ジャガイモの穫れる時期はジャガイモばかり、南瓜の時期は南瓜ばかりの食生活。そのためか、顔色が黄色くなり、学校の先生に黄疸ではないのかと疑われたり、上の原からヨモギが絶えてしまうかと思うほど若芽を摘んで食べたり、当時は安かったイカを、一番安上がりの調理法である塩辛で食べたりしました。今日の高血圧の原因になったのかもしれない。

栄養的には恵まれない環境であったので、学校で並ばされると、いつも、一番前か二番目のチビで通しました。この頃、食での楽しみと言えば、田植えのお手伝いに行くとき大きな粉むすびが出ることでした。この時ばかりは、百パーセント米の飯にありつけるわけで、学校の田植え休みには(田植えは全部、手植えの時代だった)、早乙女たちのグループに混じって親類やその近隣の農家へ行くことが何よりの楽しみでした。

畑に地力が付いてくると、販売を目的とした作物や家畜の飼料が作付けされるようになり、普通の野菜の他にあらゆるものが導入され、多品目、多品種に及びました。ミブヨモギ(駆虫剤サントニンの原料)人参や他の採種菜種、ワサビ大根等、今では見られないものや田の畔に所々残っているロシアコンフリーは、その時の名残です。

## 随想

みんなで、少しでもいい日本に(上)

東春近 酒井悦子(79)

最近、耳が遠くなって気に病んでいましたが、調圧ルーム(静岡)に何回か通ったところ聞こえるようになったので、会話をしたり、集会に出たりするのが楽しくなりました。

「高度経済成長」の進みつつある時期でした。友人の依頼で、当時、アパートの一室を借りて始めた無認可共同保育所に勤めるようになりました。当時は、まだ、「女性は家庭に入って家を守り、子どもは、母親が育てるべき」という考え方が、根強く残っていました。

「共働きしなければ生活できない!」「女性も働き続けたい!」という強い願いから、父母、保母が同等の立場で力を合わせ、お互いに学習を深めながら、「よりよい保育」と「女性の地位向上」をめざしての保育運動でした。

その運営の苦労は、並大抵のものではありませんでした。認可を求めて、児童福祉法第24条を盾に市や県の交渉にも参加しました。

保育所の立ち退きを迫られ、みんなで話し合った時、「子ども達のために、自分たちの園舎が欲しい!」ということになり、一大決心をすることになりました。

(次号に続く)

## 催し案内

## ☆ 東春近共産党ファンクラブ芋煮忘年会

12月4日(日) 午後2時~4時

共産党東春近支部センター

参加費 800円(アルコール付き)

どなたでも参加できます。

連絡先 石原(95-3681)

## ☆ 12・8平和集会

12月8日(木) 午後6時30分~

県伊那文化会館小ホール 入場無料

講演「私の被爆体験

~恐怖の記憶を削り取って生きた」

講師: 畠山 裕子さん

主催 上伊那地区憲法を守る会・上伊那労組会議

共催 上伊那母親大会連絡会・原水禁上伊那協議会

## ☆ 永久に不戦を誓う意見広告

掲載日 12月8日(木) 長野日報

## ☆ 「戦争法」廃止スタンディング

12月3日(土) 午後1時 ベルシャイン前

8日(木) 午前7時~8時 平成大橋

19日(月) 午前7時15分~8時

竜東橋北交差点

## 風物詩

## JA上伊那まつり



恒例のかかしコンクール、今年は9体が出品されました。今春から注目の人、TPPIに反対のトランプ次期大統領の案山子のせりふ「日本の諸君、もっと真剣に考えた方が良くないかい」がズバリ効いています

(場所 JA本所 写真・文 北原)

## ☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時~6時半

いなっせ北側広場

主催: さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

(79-8702)